

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第7区分
 【発行日】令和4年4月13日(2022.4.13)

【国際公開番号】WO2020/124031
 【公表番号】特表2022-514240(P2022-514240A)
 【公表日】令和4年2月10日(2022.2.10)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-025
 【出願番号】特願2021-533855(P2021-533855)
 【国際特許分類】

10

B 6 6 F 9/24(2006.01)
G 0 1 G 19/08(2006.01)

【F I】

B 6 6 F 9/24 M
 G 0 1 G 19/08 Z

【手続補正書】

【提出日】令和4年4月1日(2022.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

20

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【図1】図1は、収縮位置にあるテレスコーピング計量フォークユニットの斜視図である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【0009】

【図2】図2は、テレスコーピング計量フォークユニットの分解図である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

図1及び図2は、統合型液圧シリンダ及びベースフォークに摺動自在に平行なアウターシュー(140)を有するベースフォーク(120)を有するフォークを備えるテレスコーピング計量フォークユニット(100)を図示しており、少なくとも2つのロードセル(150)がアウターシューによって支持され、アウターシューは、荷重面(160)を有し、対象となる積荷(図示しない)及びアウターシュー間の接触を可能にするよう構成されている。図2は、任意的に、ユニットが、ロードセルが取り付けられ、アウターシューを支持する外側の伸縮自在フォークシュー(170)を含んでよいことを示している。任意的に、ロードセルは、対象となる荷重を提供し、対象となる荷重は伸縮要因によって調節されており、その要因は、伸縮距離、伸縮時間、及び一度に2つ以上のポイントで測定される液圧変位による。

40

【手続補正4】

50

【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図2】

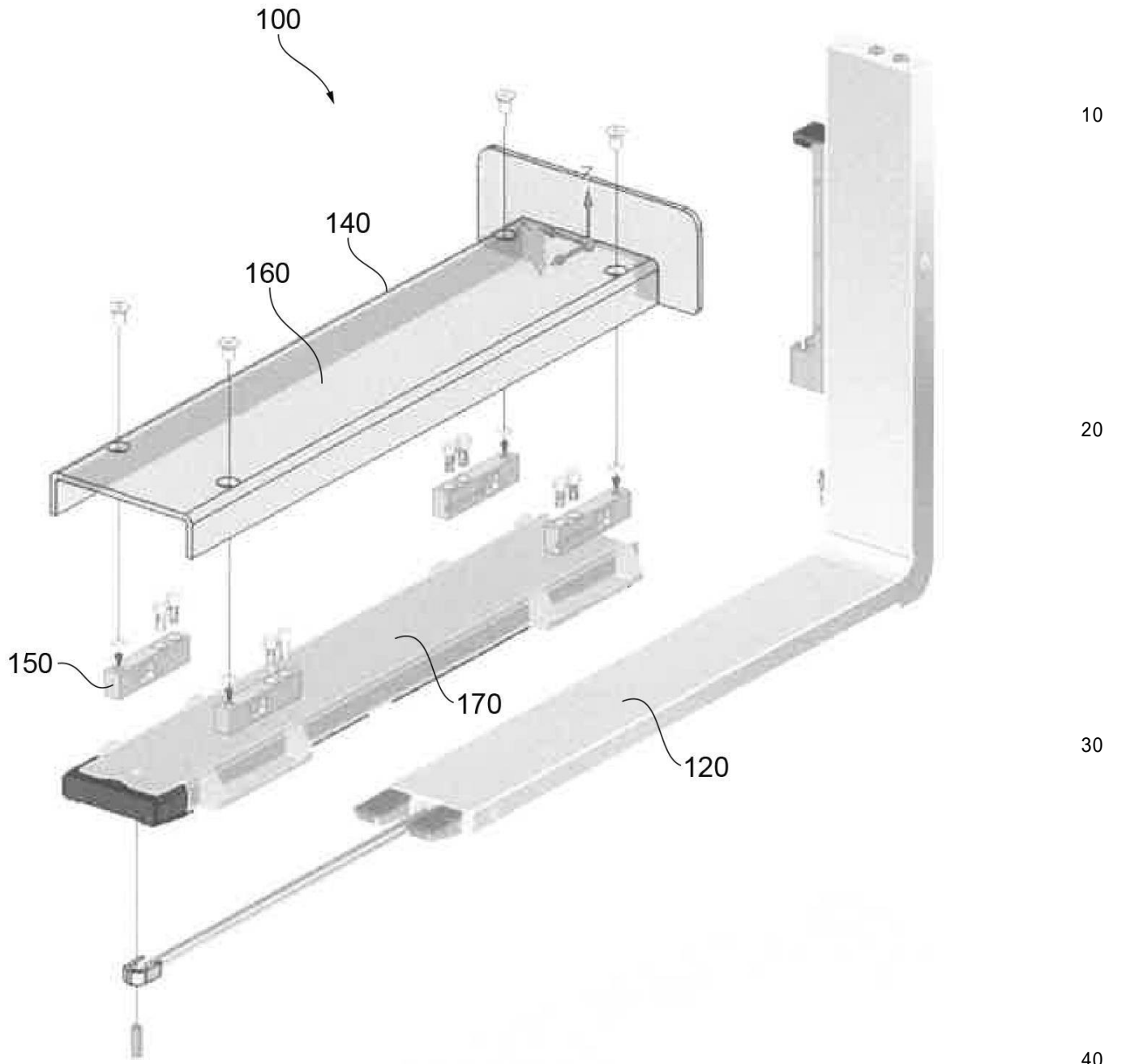


FIG. 2

10

20

30

40

50